

全東京写真連盟

撮影会写真コンクール

入賞作品集



審査対象 国営昭和記念公園モデル撮影会

撮影日 2024年09月08日

審査日 2024年11月09日

審査員: HARUKI先生



金賞
「彼誰刹那」
高橋 敏之 様
モデル 中森 蓮

審査員：HARUKI先生 講評

ややワイド系のレンズを使って草地に仰向けとなったモデルさんに対して俯瞰からのアングル、モデルの衣装を含めてのバランスが良いですね！！これによってカメラマンとモデルとの近い距離関係を示唆するような絵作りとなっています。手に持った赤い花（バラ??）もまた画面構成上のアイポイントを注ぐのに良い効果をもたらせています。



銀賞
「Why there's a tomorrow」
門間 正之 様
モデル 本多 瑠花

審査員:HARUKI先生 講評

スレンダーなモデルさんがホワイト系の衣装で踊る様子が映画の中でスローモーションで展開されるバレエによつての表現シーンのような優雅な印象を与える作品となっています。薄手の柔らかい素材の衣装で無ければならないのと、モデルさん自身の動きとそれにタイミングをうまく合わせる技術によつての結果が実りました◎



銅賞
「陽光が眩しい」
片桐 研一 様
モデル 野村 ひとみ

審査員：HARUKI先生 講評

タイトル通り、いやポーズ通のタイトル？（笑）ではありますが、眩しい日射しをさえぎるかのような指の仕草が自然体で爽やかなポートレートとなっています。トリミングもちょうど良くハマっております。こちらのモデルさんが某女優さんに似ているからかも知れませんが、美容系のCM ポスターにもなりそうな透明感と清潔感をも併せ持った魅力を秘めたる作品となりました☆



入選
「ほほえみの」
石川 玲 様
モデル 加藤 季恵



入選
「情熱」
小幡 大輔 様
モデル 宗像 茜衣



入選
「森の中」
田沼 靖信 様
モデル 中森 蓮



入選
「視線」
内藤 勝之 様
モデル 本多 瑠花



入選
「風に吹かれて」
三井 直人 様
モデル Haru



佳作
「午後」
湯原 章綱 様
モデル 野村 ひとみ



佳作
「オーバーオールに似合う娘」
荒井 秀雄 様
モデル Haru



佳作
「嫋やか」
小倉 良二 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「脚線」
河村 徳助 様
モデル 中森 蓮



佳作
「秋を持つ」
滝本 憲一郎 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「予感」
寺島 弘行 様
モデル 本多 瑠花



佳作
「秋へ」
鵜飼 典彦 様
モデル 華陽



佳作
「ちょっと休憩」
小野寺 基之 様
モデル Haru



佳作
「あなたを想って」
佐久間 裕史 様
モデル 華陽



佳作
「降臨」
及川 昭夫 様
モデル 本多 瑠花



次点
「幻想」
田中 直久 様
モデル 華陽



次点
「笑顔にて」
堤 博史 様
モデル Haru



次点
「瞳の誘惑」
栗原 恵一 様
モデル Haru



次点
「笑顔」
山田 栄一 様
モデル Haru



次点
「まるく生きましょう」
斎藤 貴生 様
モデル 宗像 茜衣



次点
「1/1000秒の瞳」
逢坂 誠俊 様
モデル 中森 蓮



次点
「風の音を聴きながら」
巻口 敏也 様
モデル 彩兎宇 すず



次点
「繋みの間から」
岸野 孝博 様
モデル 華陽



次点
「グリーンダヨ」
星野 祐一 様
モデル 彩兎宇 すず



次点
「晩夏の空」
米村 充男 様
モデル 華陽

【 前ボケなどの有用性について 】

今回の臨海副都心撮影会では金賞受賞作の前ボケ、銀賞受賞作の場合にも画面手前の〇〇越しに奥にモデルさんを配置するというシチュエーションでした。この2つの受賞作は作品そのものが素晴らしかったので入賞し、たまたま前ボケや被写体前に物がある画面構成だったという結果です。しかし、この手の手法の多くは過剰表現で失敗に終わることが多いので、本当に必要なのか？を熟考してください。ストレートなポートレートを撮ろうとしたが、どうしても何かが足りない。そして、その〇〇の画面への入れ方やボケ方が、効果的になるのかが大切です☆

HARUKI